



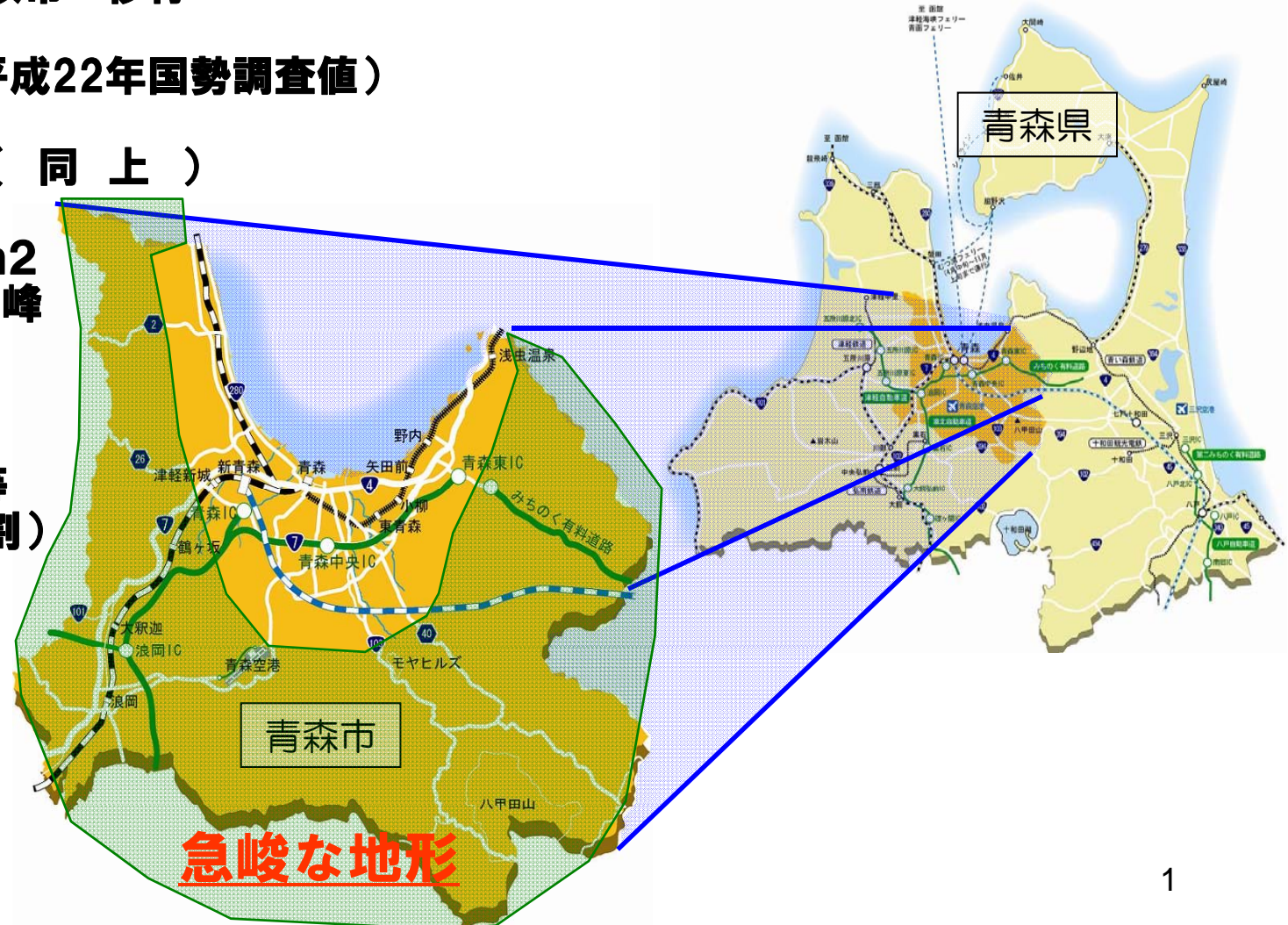
冬期道路交通の確保のあり方に関する 検討委員会

青森市

平成24年11月5日

青森市の位置・概要

- 平成17年 4月1日 新青森市スタート
- 平成18年10月1日 中核市へ移行
- 人 口 299,429人(平成22年国勢調査値)
- 世帯数 119,317世帯(同 上)
- 地 勢 面積約825km²
陸奥湾と東岳・八甲田連峰
梵珠山など自然に
擁かれた都市
- 産 業 商業・流通業等
3次産業(就業者の約8割)
に特化した都市



青森市の宝物



- 日本一おいしい水道水
- カシス(黒房スグリ)の生産量は全国1位
- りんごの生産量は全国トップクラス
- 国特別史跡三内丸山遺跡や青森ねぶた祭等
多くの資源



青森市の気象

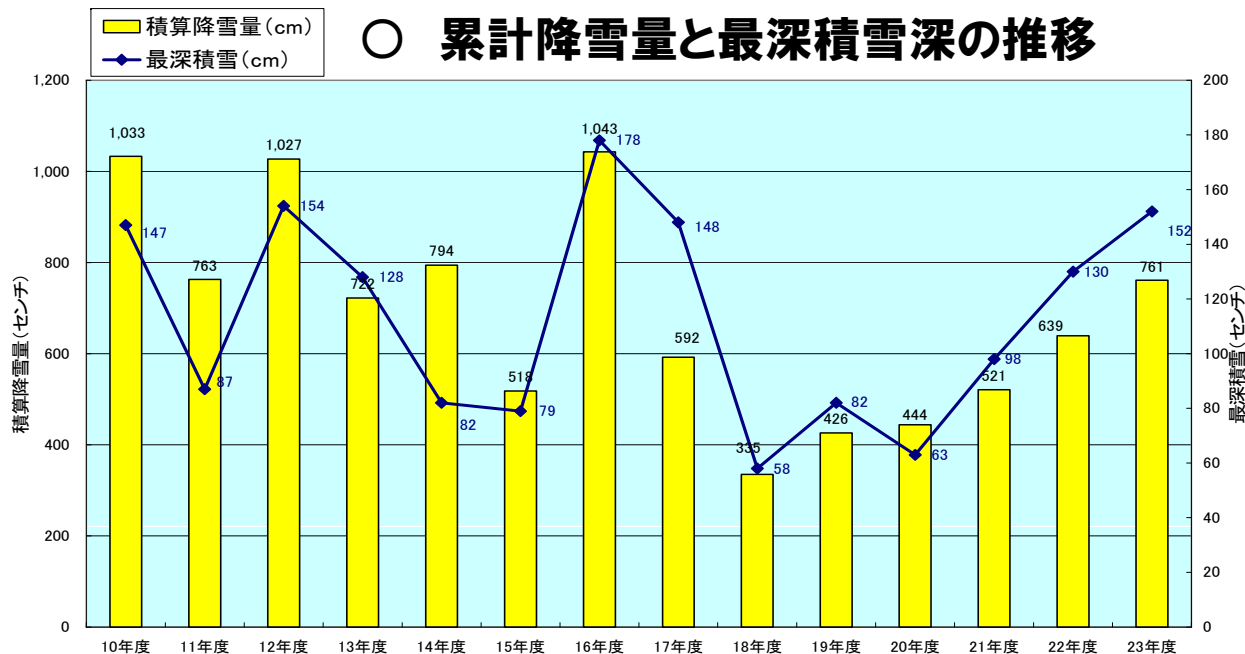
- 「特別豪雪地帯」の指定、人口30万人
規模としては、世界有数の多雪都市
- 県庁所在都市では唯一、行政区域全域が
「特別豪雪地帯」に指定
- 累計降雪量 約607cm
- 最深積雪深 約107cm ※ 過去10年平均値



○ 冬季の著しい交通障害



○ 雪の重みで倒壊した家屋



青森市内の道路状況（冬期以外）



青森市の道路状況（冬期）



青森市の除排雪①

【市街地の拡大と雪による負荷】

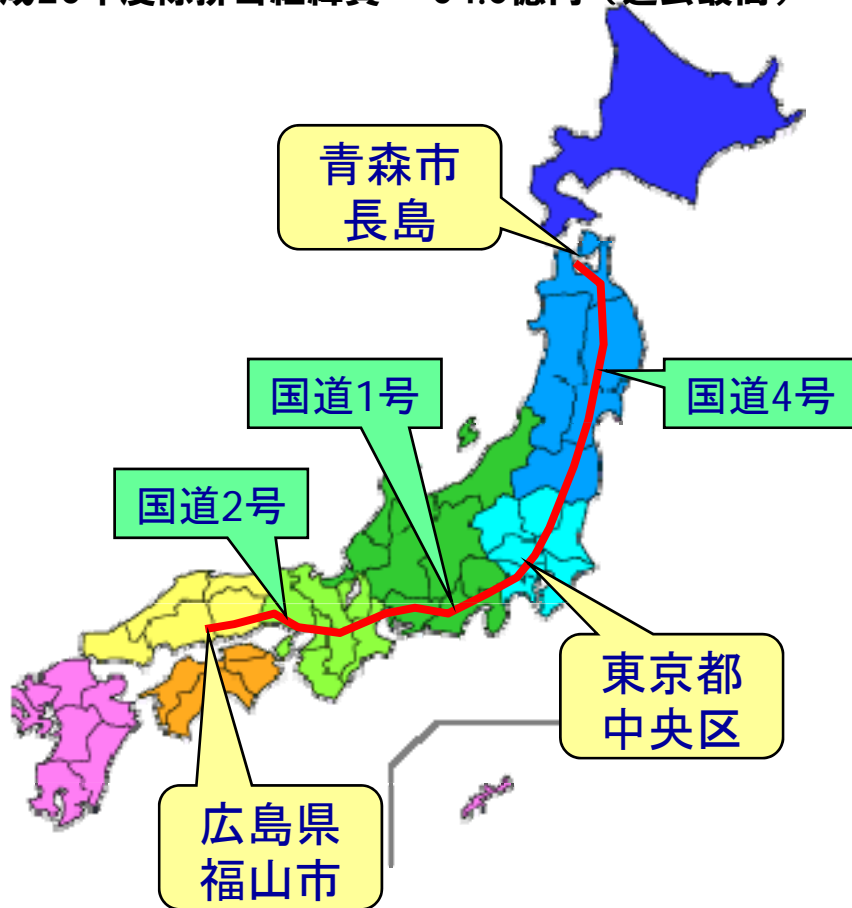
○青森市除排雪実施延長

車道約1,352km、歩道175km（平成23年度）

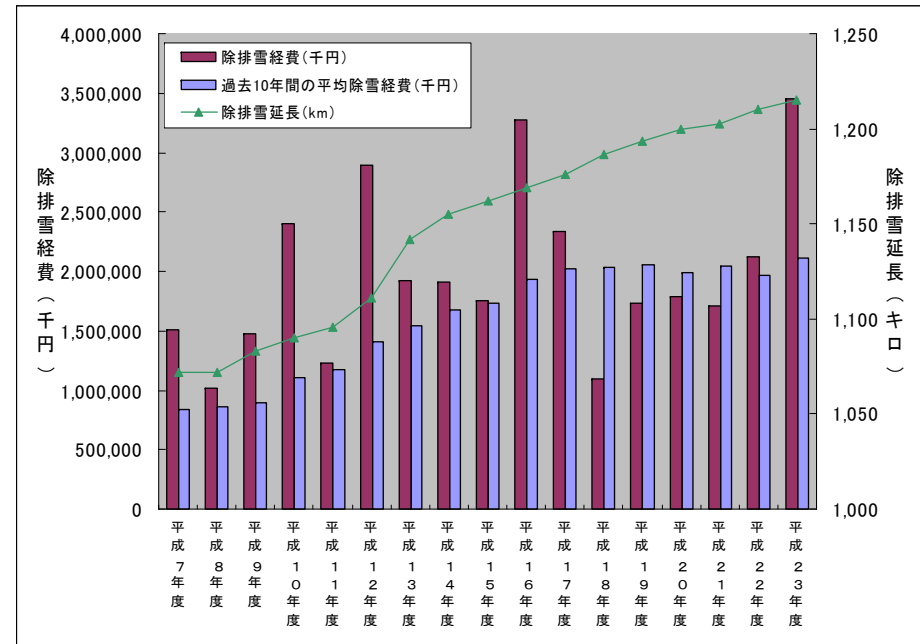
※青森市から福山市あたりまでの国道延長に相当

○市道の除排雪経費 18.9億円（過去10年平均）

○平成23年度除排雪経緯費 34.5億円（過去最高）



○除排雪経費と除雪延長



生活道路の除排雪

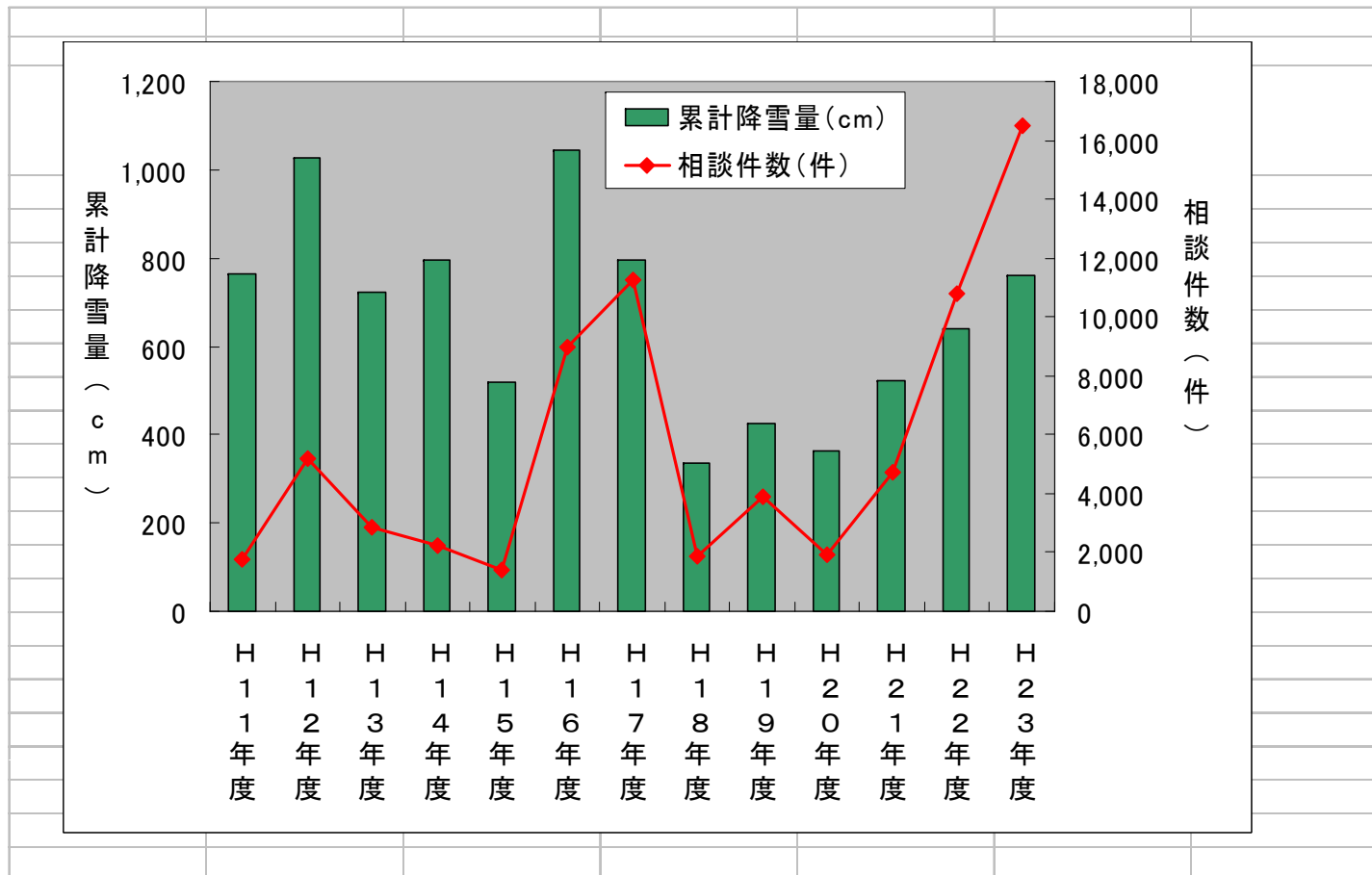


幹線道路の除排雪

青森市の除排雪②

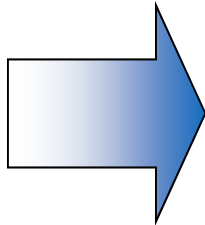
【降雪量と相談の件数】

- 累計降雪量が多い年には相談件数は10,000以上になる。
- 近年、相談件数が増加傾向にあり、市民の除排雪体制への不満が見受けられる。
- 平成23年度は、約16,500件の相談があった。



青森市除排雪事業の見直し

抜本的な除排雪体制の見直し



除排雪体制 **11** の方向性

(1) 雪に関する連絡会議

(2) 除排雪対策本部体制のあり方

(3) パトロール内容の見直し

(4) 契約方式の見直し

(5) 業者支援

(6) 業者の雪捨て場の拡充と
排雪ルート確保

(7) 歩道・通学路・バス停周りの
除雪の充実

(8) 高齢者等への支援

(9) 除排雪作業の安全管理

(10) 恒久的な雪処理施設

(11) 空き家・落雪対策

効果的・効率的な除排雪体制の構築

青森市市民とともに進める雪処理に関する条例

行政・市民・事業者それぞれの責務や遵守事項、勧告について明記。

3者のパートナーシップ

【市】

【市民】

【事業者】

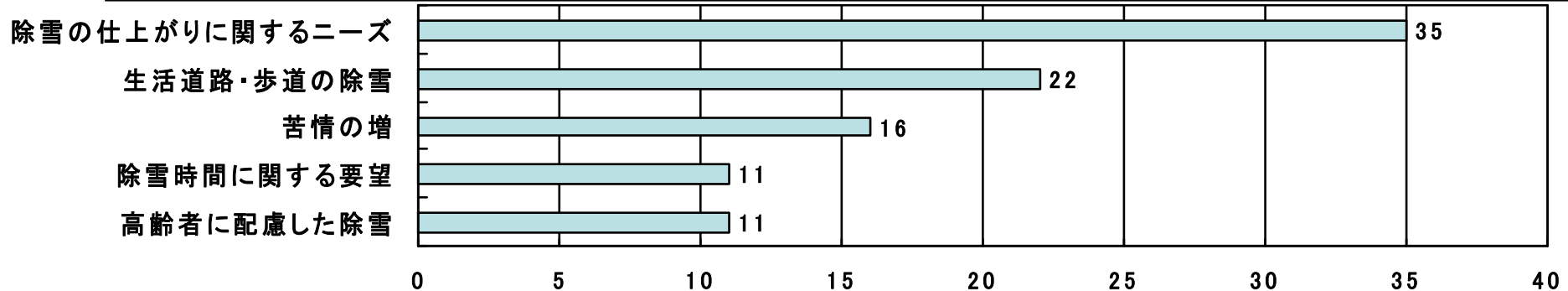


雪対策連絡協議会 会員市町村へのアンケート結果

全国雪対策連絡協議会にて、会員(223市町村)に対し本年10月に除排雪に関するアンケート調査を行った。
 10月31日までに回答のあった110市町村の意見を取りまとめたもの。
 ※アンケートは選択式ではなく記述式で行っており、各意見等の合計は回答のあった市町村数とは一致しません

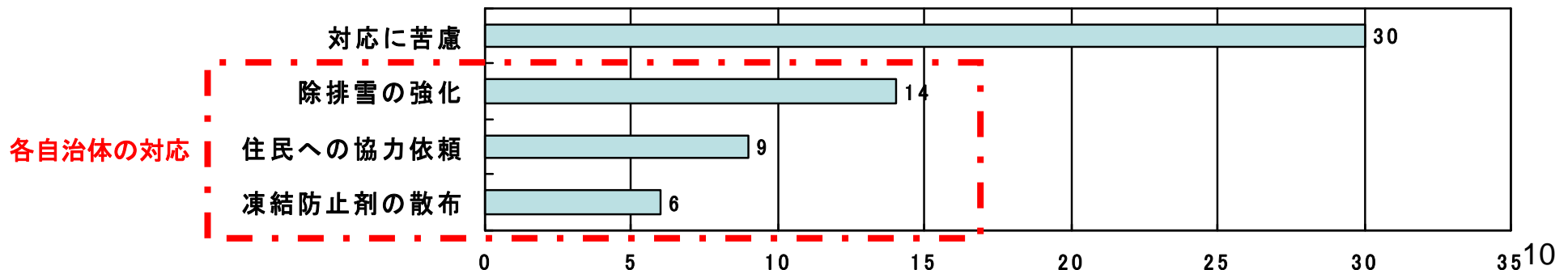
質問①：車社会の進展に伴う住民ニーズの傾向について

○ 地域、市民の除雪ニーズはどこの地域も高く、除雪要望の内容も多様化している



質問②：【ニーズへの対応】住民のニーズの変化に伴う行政の対応について

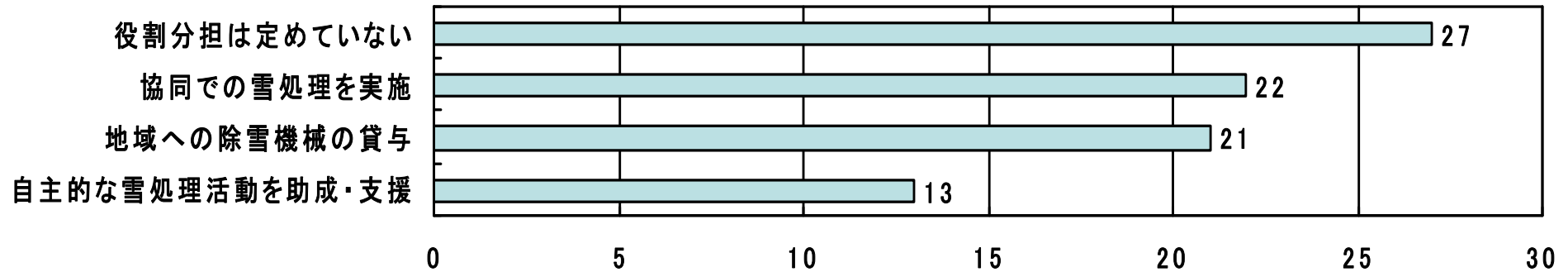
- どこの市町村も対応に苦慮している
- その一方で、市民等への協力を求めて連携して取り組んでいるところもある



雪対策連絡協議会 会員市町村へのアンケート結果

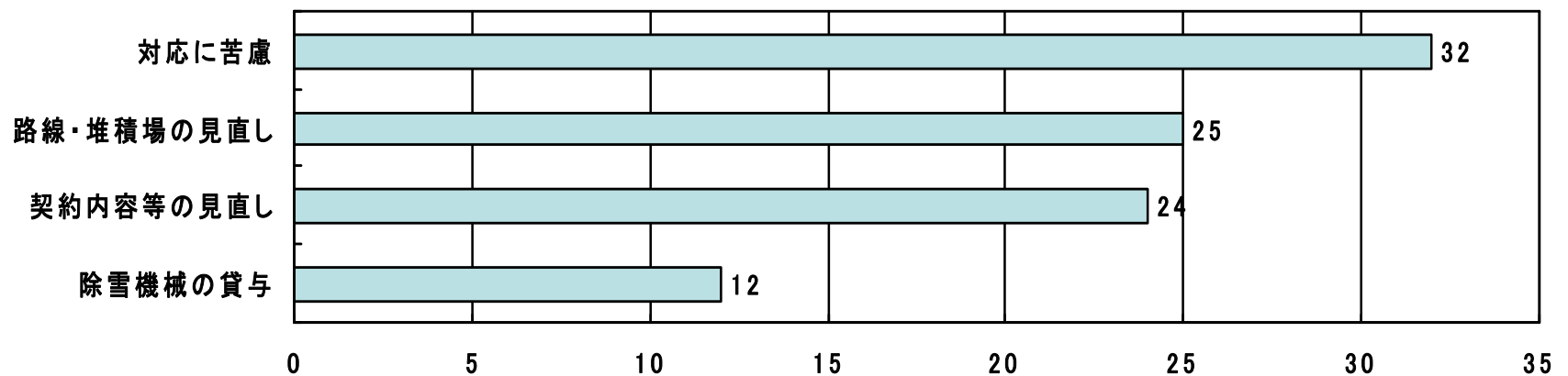
質問③：【役割分担】行政・地域・個人の役割分担の状況について

- 役割分担を定めていない市町村がある一方で、協同で雪処理に取り組んでいる市町村もある
- 行政への依存が課題となっている



質問④：【除排雪経費】コスト縮減策について

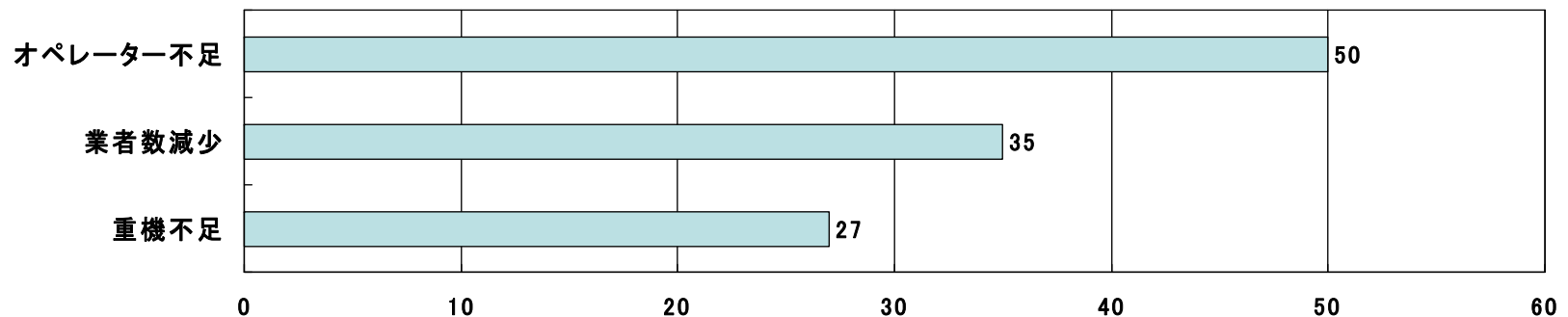
- 除排雪経費について、効果的なコスト縮減策が打ち出せていない状況



雪対策連絡協議会 会員市町村へのアンケート結果

質問⑤：【除雪の担い手・機械の確保】除雪の担い手・機械の確保について

○ 機械維持費及び購入費の困窮、建設業者（及びその機械）の減少が地域の課題となっている



質問⑥：【除雪の担い手・機械の確保】除雪機械の確保に関する取組みについて

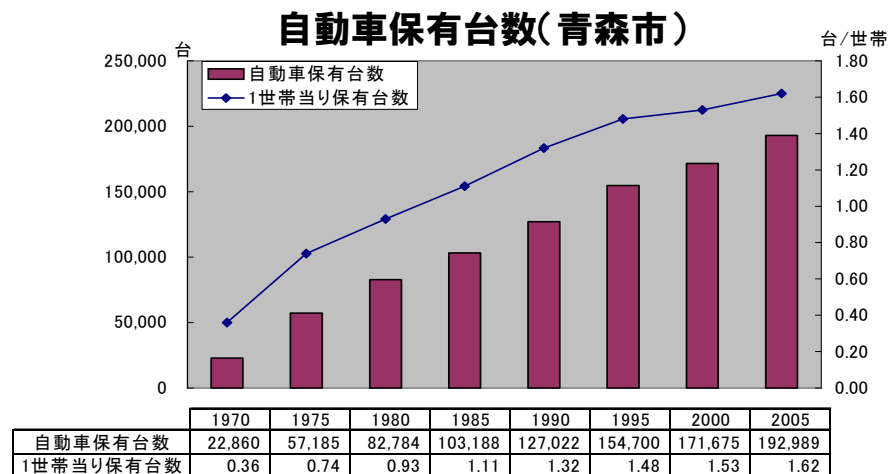
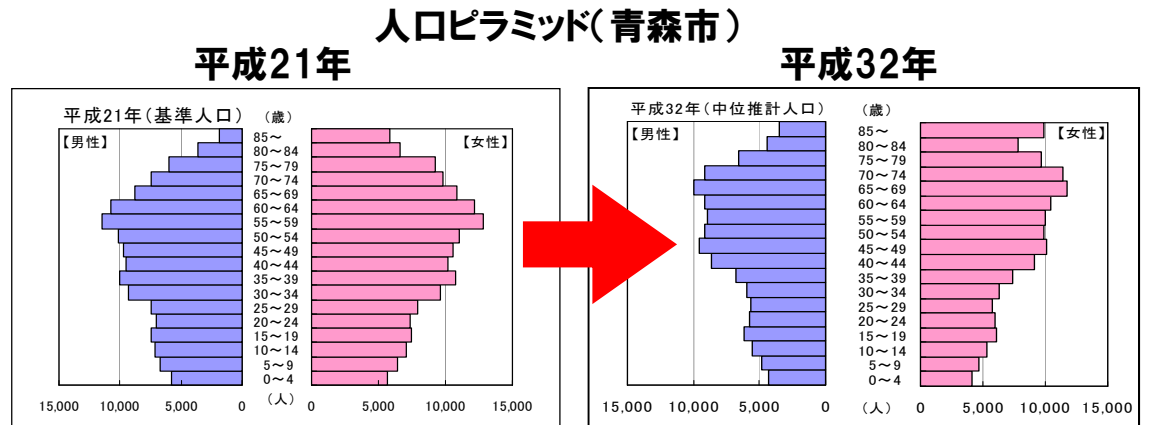
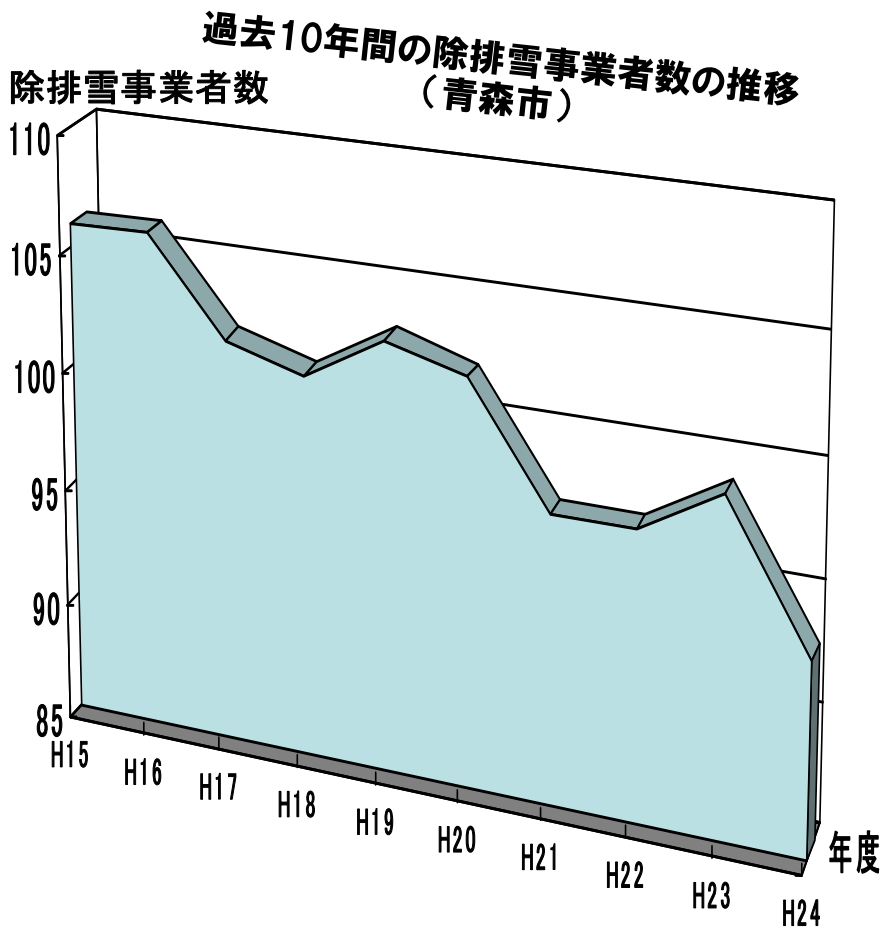
○ 市町村によっては、建設業者へ経費の一部を支援するなどして対応している
・経費の一部支援 9市町村

質問⑦：【その他】除排雪全般に関する、問題意識、課題について

- 高齢化による地域の除雪力が低下 ⇒ 10市町村
- 除雪業者・除雪機械の確保 ⇒ 8市町村
- 行政と地域の連携強化 ⇒ 8市町村
- 住民ニーズの増加 ⇒ 5市町村

問題意識①～今後の雪対策～

- 事業者の減少、高齢者率の増加、車（自家用車）への依存、財政環境の変化等にどのように対応すべきか
- 中長期的な視点で雪対策の検討が必要



	1970	1975	1980	1985	1990	1995	2000	2005
自動車保有台数	22,860	57,185	82,784	103,188	127,022	154,700	171,675	192,989
1世帯当り保有台数	0.36	0.74	0.93	1.11	1.32	1.48	1.53	1.62

資料：青森運輸支局

問題意識②～冬期重要路線の見直しの必要性～

新幹線新青森駅開業や三内丸山遺跡などの観光スポットへのルートとしての新しい道路や区画整理事業に伴うショッピングセンターの開業などで、交通の流れが大きく変わった。



- 都市計画道路3・1・1号新青森駅大通り線
平成22年12月供用
日交通量 約7,400台 (H17交通センサスより推計)
- 都市計画道路3・2・2号内環状線
平成23年11月供用
日交通量 約14,400台 (H23年度実測値)
- 都市計画道路3・4・15号三内丸山線
平成20年11月供用
日交通量 約6,750台 (H21年度実測値)
- 都市計画道路3・4・26号石江高間線
平成22年12月供用
日交通量 約7,500台 (H17交通センサスより推計)
- 市道新青森駅南通り線
平成22年12月供用 (バス路線)

- ショッピングセンター
 - ・平成12年6月オープン
 - ・大型店舗 7店
 - ・店舗面積 21,661㎡
- 県立美術館
 - ・平成18年7月開館
 - ・H23年度入館者数 33,866人
- 三内丸山遺跡
 - ・平成12年11月には国特別史跡に指定
 - ・平成20年度入場者数 312,964人

— 冬期重要路線(雪寒指定路線) — 見直し必要路線の例

問題意識②～冬期重要路線の見直しの必要性～

区画整理事業に伴うショッピングセンターの開業や市場への交通量が増え、新たな交通の流れが発生した。



- 都市計画道路3・2・2号内環状線
平成12年 3月供用
日交通量 約9,600台(H17交通センサスより推計)
- 都市計画道路3・3・11号浦町浜田線
平成16年11月供用
日交通量 約6,400台(H17交通センサスより推計)
- 都市計画道路3・3・12号浜田大野線
平成16年11月供用
日交通量 約8,700台(H17交通センサスより推計)
- 市道卸売り団地1号線外
昭和59年供用
日交通量 約2,800台(H17交通センサスより推計)

- | | |
|--|--|
| <p>ショッピングセンター①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成19年4月オープン ・大型店舗 A棟～D棟 ・店舗面積 7,956㎡ | <p>ショッピングセンター②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成12年10月オープン ・大型店舗 スーパーマーケット ・店舗面積 20,260㎡ |
|--|--|

— 冬期重要路線(雪寒指定路線) — — 見直し必要路線の例 —